



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

会 長 今井 武彦
副 会 長 森本 晴生
直前会長 城井 廣邦

2020年7月～2021年6月
国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア会長主題 「変化をもたらそう」
東日本区理事主題 「変化をたのしもう！」
東新部部长主題 「友情の絆を強めYMCAを支えよう」

書 記 鈴木 健彦
会 計 高津 達夫
担当主事 星野 太郎

2021年3月本例会 (709回)

(強調月間 : BF/ワイズメネット)

今月の聖句

いつも喜びなさい。絶えず祈りなさい。
全てのことに對して感謝しなさい。
(テサロニケ信徒への手紙 I 5-16~18)

Rejoice always, pray constantly, give thanks in
all circumstances. (1 Thessalonians 5-16~18)

東日本大震災 10周年礼拝に参加しよう!

- ・日時 2021年3月6日(土)14:45~15:45
- ・方法 Zoomによる開催(無料)
- ・申込 下記の参加申し込みフォームより

<https://bit.ly/39sogpt>

3月本例会

日時 2021年3月16日(火) 18:00~20:00
Zoom例会です。

(URLは開催日前日までに通知いたします。)

出欠は3月12日(金)までに高津会計まで

3月 BF/ワイズメネットについて

BF=Brotherhood Fund
BF代表や国際役員公式旅行の費用を賄うための国際協会の基金。使用済みの切手を換金し基金の原資としている。
ワイズメネット:男性会員のパートナー。近頃はメンバーとなる女性も増えている。(神保 記)

HAPPY BIRTHDAY

該当者なし

結婚記念日おめでとう

該当者なし

3月 Zoom 本例会 プログラム

受付 高津 達夫
司会 神保伊和雄
開会点鐘 会長 今井 武彦
ワイズソング 一同
ゲスト・ビジター紹介 司会
今月の聖句・感謝 鈴木 健彦
卓 話「思い出のランドセルギフト」
～アフガニスタンの子供達に未来の夢を!
マーケティングコンサルタント/
公益財団法人ジョイセフ理事 櫻井 啓子
強調月間アピール 神保伊和雄
ハッピーバースデー・結婚記念日 司会
諸 報 告 司会
閉会挨拶 副会長 森本 晴生
閉会点鐘 会長 今井 武彦

2021年2月の記録 (*累計は期初からの24累計)

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録	スマイル	7,750 円
正 会 員	11 名	出席(メネット) 0 名	BFポイント	現金累計 0 円
功 労 会 員	1 名	出席(コメント) 0 名		切手累計
在 籍 者 数	12 名	出席(ゲスト) 0 名		
出席(正会員)	10 名	出席(ビジター) 0 名	0 名	リングブル 累 計 225.2 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数 11 名	1月出席率 91 %	むかで基金 今月分 15,180 円

会費振込先 みずほ銀行 亀戸支店 (普通) 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

2 月 本 例 会 報 告

2021年2月16日(火)午後6時から、1月に引き続きZoomにより開催しました。司会は伊丹一之君、今井武彦会長による開会点鐘、ワイズソングは1番だけを歌いました。ゲスト・ビジターは無く、鈴木健彦君の聖句朗読と感謝ののち、メインプログラムに入りました。【写真=Zoomでの例会の様様】

本日の卓話は、メンバー同による「こころに残った文章、書物」を語るということで、今井会長



から順に、次のような発表がありました。

今井武彦:「強く、しなやかに—回想・渡辺和子」は、昭和11年の2.26事件で襲撃殺害された渡辺錠太郎の二女として生まれ、修道女、ノートルダム清心女子大学長、同理事長を経て、ベストセラー「置かれた場所で咲きなさい」の著者。境遇は選べないけれど、生き方は選べるとの言葉が心に響く。

野澤寛枝:「私の第二の誕生日」2019年7月3日に判明した乳がんステージ4、余命は1年。余命宣告から約7ヶ月がたち、なんとかがんばれそうな今日この頃です。7月3日が新たな私の誕生日と思い、この経験を活かして行けたらいいなと思います。

鈴木健彦:「核DNA解析でたどる日本人の源流」以前の例会卓話で、アフリカを出発した人々が日本にどのように到達したのかを話しました。今回は、縄文人のゲノム解析の結果から、縄文人と現代人の関係が明らかになりました。現代人の核ゲノムは、オキナワ人、ヤマト人、アイヌ人、韓国人、北方中国人、南方中国人に分かれています。

櫻井浩行:最近の本を読んでいないので、近況報告を。冬場になると、イノシシに庭を荒らされて困っています。ジビエの店ではイノシシの肉を売っていて、パテなども美味しくいただけます。

長谷川正雄:・笠井献一「SFとウイルスと黒幕のはなし」(岩波・図書) タンパク質化学専門の著者が、世間のウイルス無理解さを痛感、日常用語で解説する。読後、私の理解度は中々?

・開高 健、水村 考(写真)「もっと遠く」「もっと広く」半ば子供の脳、半ば大人の脳を持つ大人衆、子供衆を自認の著者が、自然(魚類)と対峙、写真が見事。「キャッチ&リリース」の思想者は環境保護論者でもある。

伊丹一之:2004年から5年半にわたって毎週発売されたパ

ートワーク「鉄道データファイル」の合本ファイル、32冊が愛蔵書になっています。昭和30年代の東海道本線とその周辺をターゲットにしたNゲージ鉄道模型のコレクションにも、欠かせません。

星野太郎:「センス・オブ・ワンダー／レイチェル・カーソン」センス・オブ・ワンダーつまり神秘さや不思議さに目を見はる感性、この事の大切さを教えてくれる一冊。子どものようにありのままの自然を感じ、それを表現する大人でありたい、そう思われます。「知ることは感じることの半分も大切ではない」、豊かな感性を失いがちな大人、そして私に響く言葉でした。

高津達夫:戦国武将・本能寺の変の明智光秀を文献や隠れた書物から検分。光秀は、本能寺の攻撃に直接加わっていなかった。「乙夜之書物」光秀は、味覚に障害があつた。漢方薬の調整記録文献。信長の家康接待殴打事件。

神保伊和雄:「シンシアリー」1970年代生まれの韓国人歯科医師で、韓国に呆れ、日本を【韓国人による恥韓論】・「反日」の異常事態・「徴用工」の悪心、等のシリーズの著作をあらわし、如何に韓国が日本の理解を歪めて居るかを記している。

慰安婦、徴用工、竹島、日韓条約等の問題を克明に説明し、反日の原点を様々の視点から解き明かしている。

土井宏二:今の日本を憂う。コロナ禍で新聞、月刊誌、テレビを見る時間は多く、国際感覚とずれていると感じています。S総理、N幹事長、K党が、C国に気を使い、竹島、北方領土、尖閣諸島等の日本国領土をないがしろに、挙句の果てにはオリンピックにS近平の来日を模索、世界の笑いものになるのが目にみえています。A新聞、M新聞、N国営放送が中立を無視し、あおっている日本の現状、心配です。日、米、豪、インドにベトナム、フィリピン、ミャンマーを加え、C国包囲網を築き、アジアのリーダーになってもらいたいと切望します。

城井廣邦:頑張って生きている。身近にその人はいました。先日、野澤さんのご自宅に仕事で訪問した際、自身の病との向き合い方を話していただいた。

私には2つの誕生日があります。1つはこの世に生を受けた日。もう一つは医者から余命一年の宣告をされ、幸いにも無事にクリアして元気に前向きに生きようとした日。その生き様に、ポジティブに生きることが病に勝ち抜くために大切なコトと感じました。

卓話の後は、長谷川正雄君によるTOFアピール、結婚記念日は今井夫妻に、各種報告ののち、神保伊和雄君による閉会あいさつ、今井会長の閉会点鐘で例会を閉じました。(伊丹 記)

出席者：今井、伊丹、櫻井、城井、神保、鈴木、高津、土井、野澤、長谷川、星野 (敬称略)

東新部EMCセミナー 報告

2月20日(土)13:30~15:30、Zoomによるオンラインにて「東新部EMCセミナー」が開催されました。参加者は東新部、東日本区他部、西日本区から計45人。

セミナー前段は、太田勝人東新部LT委員長(東京町田スマイリング)が司会を務め、加藤義孝東新部部長(東京)の開会の挨拶、板村哲也東日本区理事(東京武蔵野多摩)の挨拶があり、Zoomを通して参加者紹介が行われました。

続いて、お二人のワイズメンの発題がありました。

発題者1:石田孝次氏(東京多摩みなみ・区Change! 2022委員)「ワイズメンズクラブをより魅力するために」~ワイズの問題構造と解決のためフレームワーク~

石田氏は、ワイズの活動を分析したフローチャートを作成して克明に問題点を分析し、多くの課題を指摘されました。このチャート類は東日本区HPにファイルされています。

発題者2:伊藤幾夫氏(東京多摩みなみ・区EMC事業主任・部LT委員)「Change! 2022 なぜ会員増強なのか!」

東西日本区成立以降、東新部のメンバー数推移とクラブ数の変化を分析して、数字面から分析・説明されました。ワイズの現実面からの分析と、危機感です。

休憩を挿み、グループ意見交換会。司会・伊丹一之氏。お二人の発題につき、参加者を4グループに分けて、「ワイズの活性化につなげていく」ための意見を述べ、実効性を討議しました。最後に各グループの発表がなされました。

さらに、太田氏が各グループの話をまとめて、問題提起とその解決策を話されました。また、西日本区から参加の大野勉氏(神戸ポート・元理事)が感想を述べられました。

閉会は、松香光夫氏(東京町田コスモス・次期部長)の挨拶で終了致しました。【写真=EMCセミナーの様子】



感想:私たちの仲間を増やすには、どうすれば良いかのセミナーですが、ワイズは高齢化に加えコロナ禍で厳しい現状に置かれています。この厳しい時こそ、「奉仕」と「親睦」を再確認し、クラブは脱皮して変わることです。明日の社会が必要とするプログラムとなっているのか。自分達だけのみの社会奉仕、YMCA支援になっていないか、ここにEMCのスタートがあります。これが東新部も部特有の特徴を展開して変わることです。東日本区も社会・時代の要請を認識して変わることを感じています。クラブ活動の「喜び」と「夢」がEMCの「希望の光」となります。(高津 記)

出席者:今井、伊丹、櫻井、高津

シニア Y・Y・Y キャンプ

今年のシニア Y・Y・Y キャンプどうする。昨年できなかったから今年の5月にぜひやりたい。さすがに5月は無理でしょう、できても来年の5月じゃない。2年も間をあけると皆に忘れられるし、プログラムも初めから作り直さないといけなくなる。それに我々もモチベーションが下るよ。だからどうしても今年の秋にはやりたいよ。じゃ秋にやることにして準備しよう。7月未か、8月頭にできるかどうかの判断をすることにして。

というわけで、今年の秋10月にシニア Y・Y・Y キャンプを計画します。参加できる方をお待ちしています

(キャンプ実行委員会一同 鈴木 記)

下田だより (10)

前回は、アンケートの問いに答えて私の本音を述べましたが、今回は私のバックボーンについて述べさせていただきます。

私は中学、高校時代は仏教の天台宗系の駒込学園に学びました。メネットは日蓮宗の寺院に生まれ、高校、大学はプロテスタント系の青山学院で学びました。一人娘のコメントはカトリック系の聖ドミニコ学園の小学校、中学校、高校で学びました。私たちはそれぞれ異なる宗教系の学校に学び、「人として生きる」ことを学びました。

自分たちの経験を経て、宗教はそれぞれの信仰の違いはあれども、「キリストの愛」や「釈迦の慈悲」は、共通しているものであると信じています。(以下次号に続く)

1月28日(櫻井 記)

会長通信

日本の2月の話題は、①JOCの前理事長森氏の女性蔑視発言発覚とその始末、②コロナウイルス感染下の緊急事態宣言下での国会議員の夜の飲食店への出入りの話、さらに菅首相の子息と総務省高官との会食問題... 全く恥ずかしい話題に翻弄された1か月でした。国民の範たるべき方々の不始末、目を覆いたくなるような状況です。片方では、コロナ禍で事業展開の展望が開けない中小事業者、国民の貧富の格差拡大と難問が積みあがって来ております。

さらに、2月13日(土)夜の11時08分に福島県沖を震源とする震度6弱の地震が発生しました。寝ていた私も、10年前の東日本大震災の再来かと跳ね起きた次第です。幸い、10年前の地震のような被害は出ませんでした。被害に遭った方にはお見舞い申し上げます。

このような、日本の2月の状況を見るときに、暗澹とした気持ちに陥ります。

2月第二例会報告

2月22日(月)午後6時から2月第二例会がZoomで開催されました。主な協議事項は次の通りです。

1. 3月ブリテン原稿について
原稿執筆担当者の確認と原稿締め切り(2/27)。
2. 「東日本大震災10年誌への寄稿」について
城井君に執筆を依頼済み。締め切りは3月31日。
3. 自由献金、区費納付、東日本大震災記念献金他
高津会計より説明があった。
4. シニア Y・Y・Y キャンプの延期の通知について
3月2日の印刷会にて発送業務を行う。
5. むかでクラブチャーター60周年の対応について
50周年時にはYMCAへ50万円寄贈。60周年にも寄付をしたい。記念誌は60ページ程度になる予定。
6. 3月の例会と第二例会はZoom開催とする。
7. 櫻井メネットより、「ジョイセフ」によるアフガニスタンの子供たちにランドセルを贈る運動の説明。
3月例会において卓話をさせていただくことに決定。
出席者:今井、伊丹、城井、鈴木、高津、土井、長谷川、
星野、櫻井メネット (伊丹 記)

2月会計報告他

1. 月間収入・支出合計		期間 2/1～2/28
口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	0円	1,680円
活動基金部	15,180円	173,780円

経常収入項目:

経常支出項目: 通信切手

活動基金収入項目: CS献金、スマイル、寄付

活動基金支出項目: 区費(後期)、部費(自由献金)、
ことも食堂、区東日本大震災記念、メネット支援
※1～3月はコロナ禍、Zoom例会の為、スマイルに
ご協力ください。(高津 記)

2. リングプル 2月 預かり

ご協力者	重量kg	
齋藤昭七さんG	50.0kg	2月計 50.0 kg

齋藤様より【しんやまの家】の皆様からの大きな寄贈がありました。先月の吉田司様G. 25.0kgと二ヶ月続きの大型協力は、コロナ禍の活動に明るい兆しを与えてくださいました。次なる果実を得るための大きな力となると思います。小さな努力の積み重ねが大きな結果を生み出すこれが活動の源。これからもよろしく! (神保 記)

編集後記

3月に入り、近所の梅の花が満開です。コロナ感染は、東京都では400人を下回っているものの、油断は禁物です。今月もZoom開催が続きます。(伊丹 記)

しかし、2月20日に開催された東新部主催のEMCセミナーでは、石田さん(区Change! 2022推進委員)と伊藤さん(区EMC事業主任)からお話をいただきました。特に、石田さんの「クラブの統合化」のコメントがあり、方向性が示され勇気づけられました。

現状の東新部の各クラブの少人数化、高齢化の現実を前にして、「統合」の前段階としての「協働化」の実践が、極めて今は大切であることを認識しました。

コロナ禍で動きにくいことは事実として受け止め、出来ることを進めましょう。

私たちが係わるYMCAも、事業展開が難しい状況に立たされています。貧者の一灯に過ぎがないかもしれませんが、私たちにできるYMCA支援方法を考えましょう。

< 3月の予定 >

- 2日(火) 東京多摩みなみ・3月本例会(Zoom)
- 2日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会(15:30～)
- 6日(土) 東日本区次期クラブ会長・部役員研修会
- 6日(土) 東日本大震災10周年礼拝(東京Y・Zoom)
- 8日(月) 東京町田コスモス・3月本例会(Zoom)
- 9日(火) 東京・3月本例会(Zoom)
- 11日(木) 3.11記念礼拝と追悼の集い(石巻栄光教会他)
- 11日(木) 東京センテニアル・3月本例会(当面中止)
- 16日(火) 東京むかで・3月本例会(18:00～Zoom)
- 17日(水) 東京町田スマイリング・3月本例会(Zoom)
- 19日(金) 東京世田谷・3月本例会(Zoom)
- 23日(火) 東京むかで・第二例会(18:00～Zoom)

< 4月以降の予定 >

- 6日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会(16:00～)
- 17日(土) 東新部第3回評議会
- 20日(火) 東京むかで・4月本例会(18:00～20:00)
- 27日(火) 東京むかで・第二例会(18:00～Zoom)

東京YMCAニュース

◆春季スキーキャンプの実施に向けて

昨年12月のスキーキャンプは残念ながら実施を断念しました。コロナに翻弄されたYMCAの野外活動も、いよいよ春休みが今年度最後のチャンス。なんとかキャンプ実施に向けてスタッフ・リーダーたちが準備を進めています。感染対策を徹底し、キャンプ数を4つに限定、さらに一つのキャンプ単位を25人と縮小して行う予定です。

もちろん安心・安全が最優先なので、どんなに準備をしても状況によっては今回も実施を見合わせる可能性もあります。子どもたち、そのご家庭、そして志をもってボランティアを続けるリーダーたちのことを思うと、何とか実施したいと心から願います。皆さんもどうかお祈りください。

(星野 記)